

看護師として働くことが不安だった

今は、親や先輩に支えられて充実して働くことができる

1階3病棟
医療療養病棟
九本 阿衣紗



Q.入職した時の気持ちと現在の気持ち

A.コロナ禍で実習ができなくて患者さんと関わる機会が少なかったので、看護師として働けるか不安な気持ちがありました。第一希望の就職先で社会人として働けるというワクワクする気持ちもありましたが、実習とは違うので、不安の方が強かったです。不安な気持ちを親に話すと「阿衣紗なら大丈夫」と励ましてくれていました。病棟の先輩達は優しく関わってくれ、「分からないことは聞いてね」と声を掛けてくれ、プリセプターがいなくても先輩達に優しく教えてもらっています。今は充実して働くことができます。

Q.今行っているケアや業務

A.1部屋4名の患者さんを、7-10日間続けて受け持っています。バイタル測定・軟膏処置・オムツ交換・内服薬管理・経管栄養の準備と実施・痰吸引をしています。処置が多い患者さんだと受け持ち期間を長くしてもらうことで、時間をかけてゆっくり患者さんのことを知ることができるので、ありがたいです。

Q.学習方法

A.手書き苦手なので、PCで入力して覚えています。患者さんの疾患や内服薬について学習しています。家で学習していますが、正直疲れて寝てしまってもできないこともあります。

Q.研修で活用できたこと

A.コミュニケーションも看護師術が不安でした。2か月の基礎研修で1つの技術を1日かけて、基本や手順、留意点・注意点を学びました。配属後、自信を持ってでき、安心して指導を受けることができました。研修でゆっくり学ぶことができました。良かったです。



Q.仕事をしていて楽しかったことや難しさ

A.足趾が湿潤と皮膚の落屑がある患者さんに清拭をしていたが限界があると思い、指導者さんと相談し、足の清潔について自分発信でカンファレンスを行い、多職種から意見をもらうことができました。2週間、浴室で洗浄することになり、足趾の状態は改善しました。自分が発信ことを、先輩に達が一緒に動いてくれたことも嬉しかったです。難しいことは、学習した病態と実際の患者さんに繋げて考えること。他には、認知症患者さんや会話が難しい患者さんとのコミュニケーションです。先輩の真似しをして、天気の話とか身の回りの話をし、反応が乏しくても必ず声を掛けています。

Q.今の目標

A.チームの患者全員の部屋持ちを行い、患者さんの特徴や疾患と症状の繋がりを理解したいです。

Q.私の国家試験対策と就活

A.紙に書くことが苦手で、国家試験のアプリを2個使って、過去問を解き、とにかく覚えめました。傾向を掴むため予備校にも通いました。苦手なところや間違える所をノートにまとめ、お守りとして試験会場に持っていく、「自分はこれだけやったんだ」と自信になりました。模試は学校で数社受け、回答解説を読んで勉強しました。就活は、最初から絞り込んで、愛全病院しか受けていません。この病院と決めていたので、面接で自分の思いや考えをきちんと伝えようと思って、事前に面接用のノートを作成して暗記しました。病院の理念なども覚えて面接に臨みました。

